

平成 26 年 6 月 6 日

各国公私立大学（学部）長 殿
各関係機関の長 殿

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
教員候補者選考委員会 委員長 山田 敏彦

教員の公募について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（以下、センターという。）におきましては、下記の要領により、教員を公募することになりました。つきましては、貴学・貴機関関係者に周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、ご依頼申し上げる次第です。よろしくお願い申し上げます。

記

1. 職種： 助教（任期付き） 1名

本センターでは助教に5年の任期を付しており、審査のうえさらに5年間の再任を認めることがあります。採用から5年の間に、昇任審査で認められれば准教授（任期なし）に昇任可能です。昇任審査は助教の再任後にも受けすることができます（付記1参照）。

2. 所属・分野等：（付記2参照）

担当ステーション：耕地圏ステーション

教育研究部：持続的生物生産領域

大学院：環境科学院・生物圏科学専攻・耕地圏科学コース

3. 勤務地：札幌市

4. 応募要件：

（1）博士の学位を有する方。

（2）家畜を活用した環境や持続的生物生産等のフィールド科学について優秀な業績・研究能力を有し、環境科学院の大学院教育および耕地圏ステーション生物生産研究農場（以下、農場という。）が行う実習などを担当できる（付記3）とともに他分野と連携した教育研究の推進に意欲のある方。

- (3) センターおよび農場の全学的・社会的活動を積極的に遂行する方.
- (4) 家畜管理などの実務経験のあることが望ましく、技術職員と一緒に
なり、施設やフィールド管理に意欲と責任感をもって参画していた
だけの方.
- (5) 平成 27 年 4 月 1 日までに速やかに着任できる方.

5. 応募書類

- (1) 履歴書 1 通 (顔写真付き)
- (2) 研究業績目録 1 部
学術論文 (査読制の有無)・学位論文・著書・総説・その他論文 (査
読なし)・学会発表に分けて記載してください。また、国際的・全
国的シンポジウムのオーガナイザーや招待講演・各種受賞・競争的
研究費、委託研究費の獲得状況および教育実績など教育研究活動に
参考となる事項も記載してください。
- (3) 主要論文の別刷またはコピー 5 編以内、各 9 部
- (4) これまでの教育研究の実績 (2,000 字以内) 1 部
上記主要論文の内容を含め、これまでの教育・研究および社会貢献
などに関する活動について簡潔に記述してください。
簡潔に記述してください。
- (5) 応募にあたっての抱負など (1,000 字以内) 1 部
就任後における教育・研究および農場での研究展開に関する抱負な
どを記述してください。

6. 選考方法： 書類選考および面接 (必要と認めた場合)。面接を行う場合、
交通費等は支給されませんので、あらかじめご了解ください。

7. 応募期限： 平成 26 年 9 月 12 日 (金) 必着

8. 採用予定日： 平成 27 年 2 月以降のできるだけ早い時期

9. 応募書類提出先

〒060-0811 札幌市北区北 11 条西 10 丁目
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
係長 (人事担当) 宛
(「持続的生物生産領域助教公募」と朱書きし、書留で郵
送してください。応募書類は原則として返却いたしません。)

10. 問い合わせ先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

耕地圏ステーション 山田 敏彦

Tel: 011-706-3644

E-mail: yamada@fsc.hokudai.ac.jp

付記

- 1) センターではテニュアトラック制度を運用しており，その目的は，助教に採用する時点で将来の准教授昇任を期待した選考を行い，高い能力と強い向上心をもつ若手研究者に実力を発揮する場を提供することにあります。

- 2) センターは，農場・牧場・植物園・研究林・臨海実験所などの施設を統合して設立された学内共同利用施設です。教員は，耕地圏ステーション（本公募のステーション）・森林圏ステーション・水圏ステーションのいずれかに所属し，各施設およびセンターの管理運営にあたるとともに生物資源創成領域・共生生態系保全領域・持続的生物生産領域（本公募領域）・生物多様性領域・生態系機能領域・生物群集生態領域からなる教育研究部（領域）に所属して，教育・研究を行っています。センターと耕地圏ステーションの詳細につきましては，センターホームページ(<http://www.hokudai.ac.jp/fsc/>)，環境科学院と耕地圏科学コースの詳細については，環境科学院ホームページ(<http://www.ees.hokudai.ac.jp/>)をそれぞれ参照してください。
現在，本公募の持続的生物生産領域は，教授3名・准教授2名・助教2名で構成されています。また，耕地圏ステーションは，教授4名・准教授1名・助教3名で構成されています（数値はいずれも平成26年5月現在）。

- 3) 農場で行っている実習などには，農学部専門科目の家畜生産実習・畜産物利用学実習・畜牧体系学実験・畜産物品質管理学実験，全学教育科目の身近な食べ物づくり演習・フィールド体験型プログラム-人間と環境科学などがあります。